

# 「史跡鳥取城跡附太閤ケ平保存整備基本計画(案)」

## まちの文化遺産を守り、活かすために

本市では、史跡鳥取城跡の歴史的価値を保存するとともに、市民の心のよりどころ・中心市街地の憩いの場として、また滞在型の観光資源として活用するための整備を行います。

大半が史跡指定範囲となっている久松山には、戦国時代までに築かれた中世城郭群と、江戸時代に藩主の居城となった近世城郭が重層的に築かれており、ひとつの史跡で城郭変遷の歴史をみることができ

ます。また、江戸時代に造営された城下町は、地域の文化的・経済的中心地として繁栄し、現在の中心市街地の基礎となつています。明治時代に入り、城郭としての機能を失いましたが、それ以後も中心市街地から見えるランドマークとして、また都市に隣接する豊かな自然として、市民に親しまれてきました。

本市は、昭和32年の史跡指定以来、鳥取の歴史に深い関わりをもつ鳥取城跡の保存管理に努めてきましたが、近年の都市環境・自然環境の変化により「まちの宝」である鳥取城を守っていくためには、長期的な保存整備計画の立案が、重要な課題となつてきました。そのため、平成16年度から、史跡整備・歴史・景観・まちづくりなどの分野における学識経験者と市民からなる「基本計画検討委員会」で検討を重ね、このたび計画案がまとまりましたので、市民のみなさんのご意見をお寄せください。

### 基本計画の骨子



1. 近世の鳥取城だけでなく、中世の城郭跡・陣跡や自然環境も含めた、史跡の総合的な保存・整備をめざします。
2. 市民の憩いの場として、また来訪者に史跡の価値を伝える場としてふさわしい整備を行います。また、それにより、滞在型の観光資源としての価値を高めます。
3. 城下町を視野に入れ、歴史的景観を醸し出すような整備をめざします。
4. 史跡の特性を活かした保存と活用を進めます。
5. 近世鳥取城跡については、建造物、郭、石垣、道筋などを視野に入れ、幕末期の全体像への復元的整備を行います。
  - ▶ 建造物・石垣など、復元にあたっては、根拠が得られたものから検討します。
  - ▶ 城郭としての全体構造を復元するため、堀端・大手筋より整備に着手します。
  - ▶ 二の丸の櫓群およびその他の建造物についても、調査・検討を続けます。
6. 既存施設については、移転も含めた検討を将来的課題とし、当面併存を許容して整備を進めます。
7. 史跡の環境維持と活用のため、一元的な管理運営組織の設置をめざします。
8. 市民参画を促進する史跡の保存・利活用を行います。

### ご意見のあて先はこちらです

お待ちしております！



文化財課 中村英夫課長

**提出方法** 様式は問いません。住所・氏名を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかで

**資料配置** 1月4日(水)から市役所本庁舎1階総合案内所/市役所本庁舎3階文化財課/市役所駅南庁舎1階総合窓口/各総合支所教育委員会分室/市立中央図書館/各中央公民館/鳥取市歴史博物館(やまびこ館)  
※鳥取市ホームページにも掲載しています(アドレスは23ページ)。

**提出期限** 1月27日(金)必着

**提出・問い合わせ先** 市役所本庁舎文化財課

☎(0857) 20-3367 ㊟(0857) 21-1594

電子メール kyo-bunka@city.tottori.tottori.jp

## ご案内 鳥取城フォーラム

**とき** 1月14日(土)

午後1時30分～4時30分

**ところ** 鳥取県民文化会館 第1会議室

**内容** ▶東北芸術工科大学教授・田中哲雄さんによる基調講演

▶史跡鳥取城・保存整備基本計画の概要説明

▶基本計画検討委員によるパネルディスカッション

**定員** 190人

※参加自由です。ご来場をお待ちしています。